



2024年11月14日

各位

会社名 AIフュージョンキャピタルグループ株式会社  
(コード：254A 東証スタンダード市場)

代表者名 代表取締役社長 澤田 大輔

問合せ先 財務経理部長 西田 賢一郎

(TEL：03-6261-9511)

## 株式会社河合青果の株式取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、2024年11月14日開催の取締役会において、株式会社河合青果（以下、「河合青果」）の株式を取得し、子会社化することについて決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 株式の取得の理由

当社は、「AIを軸に日本の成長を支えるキャピタルグループを目指す」ことを経営理念に、また子会社であるフューチャーベンチャーキャピタル株式会社（以下、「FVC」）では地方創生をメインテーマとして、地域金融機関等の出資を受け、投資先のIPOを目指すファンドだけではなく地域の創業や事業承継に資するファンドの組成にも取り組んでおります。

当社グループでは、FVCの掲げる「地方創生」への取り組みも引き続き重要テーマと捉えており、本件のような後継者不在に悩む地域企業への支援についても取り組んで参ります。

河合青果は、長年にわたり青果卸売事業を営んでおり、青果物等食の流通において重要な役割を果たして参りました。また、河合青果代表の須田勇氏は名古屋北部青果物商業協同組合の理事長を10年以上務めるなど、中部圏を拠点とする名古屋市中心卸売市場北部市場との強固な取引基盤を築いております。

一方で、2020年より始まったコロナウィルスの影響による事業への影響や、将来的な後継者問題を抱える中、当社としましてはFVCの掲げる「金融を通じて地方創生を実現する」経営理念とも一致しており、河合青果と共に事業拡大を目指す目的で、今回株式の取得に至りました。

今後、河合青果にハンズオン支援で取組み、更に将来的には名古屋市中心卸売市場北部市場にも AI 等による DX 化により市場活性化、業務効率化の支援も検討してまいります。

また、青果卸売事業者の事業承継に悩む企業の受け皿としての役割を担っていく方針であります。

ファンド事業にて投資するスタートアップ企業および AI 等による DX 化による青果卸売業とのシナジーは、技術革新や成長機会を通じて、伝統的な業界に新しい価値をもたらすことができる点にあります。以下はいくつかの具体的なシナジーの例です。

#### (1) デジタル化と効率化

青果卸売業において、物流や在庫管理をはじめ取引のデジタル化を進めるスタートアップ企業を通じて、業務効率を向上できる可能性があります。例えば、青果の需要予測や価格動向を AI を使って分析し、最適なタイミングや価格での仕入れや販売の判断を支援するシステム開発を行うことが考えられます。

#### (2) サプライチェーンの最適化

青果卸売業においては、サプライチェーンの効率性が利益に大きく影響します。スタートアップ企業を通じて、トラッキング技術やブロックチェーン技術を用いて、産地から消費者までの流通を透明化し、流通コスト削減や品質管理の向上に貢献できる可能性があります。

#### (3) 持続可能性とフードテック

環境負荷を減らしつつ、効率的な生産・流通を実現する技術を持つフードテック系スタートアップ企業を通じて、青果卸売業を持続可能なビジネスモデルに移行できる可能性があります。例えば、食品ロスを減らす技術や、クリーンエネルギーを活用した物流システムが考えられます。

#### (4) E コマースやマーケティングの強化

伝統的に対面取引が多い青果業界において、E コマースプラットフォームやマーケティングツールを活用することで、オンラインでの取引を促進し、売上の拡大に繋げることができる可能性があります。これにより、消費者や小売業者に直接販売するルートも開拓でき、流通経路の多様化を図ることができます。

#### (5) 顧客体験の向上

データ分析や顧客インターフェースの改善を通じて、青果のバイヤーや小売業者に対してパーソナライズされた取引提案を行うことができます。これにより、顧客満足度の向上による長期的な関係構築が可能となります。

これらのシナジーを通じて、青果卸売業の市場の変化に柔軟に対応し、競争力の強化に取り組んでまいります。

## 2. 異動する子会社の概要

(1) 名称	株式会社河合青果			
(2) 所在地	名古屋市中村区大秋町四丁目40番地の5			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 須田 勇			
(4) 事業内容	青果物卸売業			
(5) 資本金	5百万円			
(6) 設立年月日	昭和55年10月23日			
(7) 大株主・持株比率	須田 勇 100.0%			
(8) 当社との関係	資本関係	該当事項はありません。		
	人的関係	該当事項はありません。		
	取引関係	該当事項はありません。		
(9) 経営成績及び財政状態		2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期
売上高	千円	140,766	176,099	199,198
営業利益	千円	▲25,019	▲14,293	▲9,718
経常利益	千円	▲14,915	▲5,604	▲8,692
当期純利益	千円	▲14,579	▲5,604	▲8,419
純資産	千円	▲40,532	▲46,136	▲54,556
総資産	千円	92,491	79,197	69,899
1株当たり純資産額	千円	▲8	▲9	▲10
1株当たり当期純利益	千円	▲2	▲1	▲1
1株当たり配当金	千円	—	—	—

## 3. 株式取得の相手の概要

(1) 氏名	須田 勇
(2) 住所	愛知県名古屋市中村区

(3) 当社との関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。

#### 4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数 0個) (所有割合 0.0%)
(2) 取得株式数	5,000株 (議決権の数 5,000個)
(3) 取得価額	20百万円
(4) 異動後の所有株式数	5,000株 (議決権の数 5,000個) (所有割合 100.0%)

#### 5. 日程

- (1) 取締役会決議日 : 2024年11月14日
- (2) 株式譲渡契約締結日 : 2024年11月15日
- (3) 株式譲渡実行日 : 2024年11月18日

#### 6. 今後の見通し

本件株式取得による当社グループの2025年3月期の連結業績に与える影響は軽微なものを見込んでおります。今後開示すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以上